



養父市は
人と環境にやさしい
農業を推進しています



養父市イメージキャラクター
やっぶー

養父市

新規就農ガイドブック



**農業を志す
あなたの本気を
応援します**



養父市産業環境部農林振興課



養父市はこんなまち



養父市は、兵庫県北部に位置し、市の東部を一級河川・円山川が流れ、西部には鳥取県との境に兵庫県下最高峰の氷ノ山(標高1,510m)がそびえる雄大な自然に恵まれたまちです。

一年を通じ寒暖差が大きく冬に雪の多い日本海側気候の養父市は、ハチ高原をはじめ4つのスキー場を有しており、冬のウインタースポーツ、夏のキャンプ・登山、秋の紅葉の中のハイキングなど様々な顔を持った美しい四季を感じることができる地域です。



氷ノ山を望む別宮の棚田

養父市では、稲作を主体として野菜、畜産、花き、果樹などを取り入れた複合的な農業が展開されています。近年は、特産品のブランド化や、有機栽培など農畜産物の高付加価値の取組も積極的に行われています。

交通面では、京都と山陰地方を結ぶ国道9号、姫路方面と山陰方面を結ぶ国道312号が通っており、広域的なネットワークを形成しています。また、北近畿豊岡自動車道が延伸され、市内には八鹿氷ノ山IC、養父ICが整備され阪神間とより近くなりました。

●目次

- 1 養父市の農業について…………… 2
- 2 農業を職業として選択する前に…………… 3
- 3 新規就農プロセス…………… 4
- 4 養父市で就農した先輩農業者…………… 5～7
- 5 養父市の有機農業の取組…………… 8～10
- 6 就農支援制度…………… 11～12
- 7 子育て支援制度…………… 13
- 8 移住支援制度…………… 14





養父市の農業について



養父市の農業は稲作が中心です。中山間地域のため棚田が多く、経営規模は大きくありませんが、豊かな川の水を利用した米作りが盛んです。野菜ではピーマンやトマトの他、高原地域を中心にハウレン草や大根を作っている農家が多くあります。特産品としては、但馬地域や養父市の気候を活かした「但馬ピーマン」や「轟大根」のほか、伝統的な農産物である「朝倉山椒」や「八鹿浅黄」を推進しています。

また、養父市では、但馬牛のふん尿を利用した栄養がたくさんある「堆肥」を農業に利用することで、人にも環境にも優しい「有機農業」を広めようとしています。

■養父市の作物別の経営体数・作付面積

単位：経営体、ha

作物名	経営体数	作付面積
稲作	436	397.0
麦類	1	0.5
いも類	25	1.9
豆類	21	2.1
大豆	17	1.5
小豆	6	0.6
工芸農作物	14	2.8
施設野菜	34	11.9
ハウレン草	15	7.3
トマト	14	1.3
露地野菜	34	11.9
大根	33	7.4
ピーマン	27	1.8
果樹	34	11.9
柿	9	1.3
梨	6	2.0
花き・花木	31	5.5

※経営体数は販売農家数【2025 農林業センサスより】



平地での稲作



棚田での稲作



但馬ピーマン



轟大根



朝倉山椒



八鹿浅黄

■養父市の有機農業の取組

但馬牛の飼育



ふん尿

おおや堆肥センター



堆肥

やぶし有機の里づくり ～循環型農村社会の構築～

養父市は世界に誇る但馬牛の産地。発酵の進んだ高品質の堆肥を入手することができます。大屋地区の大規模プラントで年間を通して牛ふん堆肥が作られているほか、市内各地で堆肥が生産されています。



●おおや高原の野菜

平成3年から有機農業でハウレン草などの野菜を栽培



●環境にやさしいお米

コウノトリ育む農法など、環境にも優しい米作りを推進



●おおや有機農業の学校

農家以外でも有機農業を学ぶことができる学校



農業を職業として選択する前に…



5つのチェック



1

農業を始めようと思ったきっかけは？

「無農薬の野菜が食べたい」、「会社勤めより楽そう」、「田舎暮らしをしたい」といった憧れで農業を選んでいませんか。単なる思い付きであればもう一度考えてみてください。

農業は自然相手の仕事になりますので、自然災害や農作物価格の上昇下落など思いがけない事態が発生します。一人の経営者として会社を営営することと変わりません。



2

家族の理解を得ましょう。

農業を職業にするということは、家族のライフスタイルを大きく変えることになります。都会と違う面が多いですが、そのような条件について家族の理解と協力を得る必要があります。

農業経営は家族で行うのか一人で営農をするのか、生活用品はどこで購入できるのか、子どもの通う学校までの距離など住む地域への綿密なリサーチが必要です。家族の理解を得ることが新規就農への第一歩です。営農をしたいと思う地域へ家族と一緒に見学に行きましょう。



3

新規就農するために準備はとても重要です。

農業経営を行うには専門的な技術や、経営管理能力を身に付け営農計画の下で農業を行うことが必要です。経営の主軸となる農作物については、種まきから収穫まで1サイクル以上の栽培を経験してから営農計画を立てていくことが必要になります。

また、新規就農者が就農に際し苦労した点として、資金の確保や営農技術の習得、農地の確保等があげられていますので、一度農林振興課へご相談ください。

※新規就農者が就農1年目に要した費用状況は、平均で896万円(機械・施設等670万円、その他の必要経費226万円)とされています。

*令和6年度「新規就農者の就農実態に関する調査結果」
全国新規就農相談センター調べ



4

農村社会で近所付き合いは大切です。

農村社会では、地域の様々な行事や共同作業に積極的に参加し、地域に溶け込むことが重要です。

地域の一員として密接な近所付き合いが必要になりますので、慣れない地域の習慣に戸惑いを感じるかもしれませんが、営農に係る共同作業や地域行事に積極的に参加協力することで人脈を築くことができ、様々な地域の情報を得ることも可能になります。



5

農業は会社のような定期収入がありません。軌道に乗るまで時間がかかります。

全国新規就農相談センター実施のアンケートでは、新規就農者の約68%が「就農後1・2年目の農業所得は100万円未満」と回答しており、生産、販売する作物によって変わりますが安定した収入を得るには長い時間がかかります。長期間軌道に乗らなくても取り組み続けるという根気、農業経営に対する分析や研究を行う熱意が必要になります。



新規就農へのプロセスを考えよう

1 農業を始めたい

なぜ、農業をしたいのか考えましょう。営農するにあたって家族の賛成はもらえましたか。

2 情報収集をしよう

就農に向け、窓口での相談や相談会、関心のある講座などに参加しましょう。就農希望の地域に訪問して農家の話を聞くなど現地調査は念入りに確認しましょう。

3 目指す農業経営の具体的なイメージや生活プランを明確にしよう

どんな作物を作り、どれくらいの面積で営農するのか経営の計画を作成してみましょう。作った野菜はどれくらいで売れるのか考えてみましょう。

4 農業経営に必要な技術・経営ノウハウを取得しよう

農家、農業法人での研修制度や、養父市新規就農希望者研修支援制度を活用し栽培技術と経営知識を身につけましょう。

5 就農内容の決定

就農に必要な資金は準備できましたか？不足する資金は公的な融資制度を利用するなど方法の一つです。

6 農地の確保をしよう

農地の確保は、購入、借入いずれの場合も農業委員会の許可が必要です。

経営基盤の確保・整備

7 農業用機械、施設等の確保

栽培する作物や規模に見合った施設や機械等が必要です。できるだけ自己資金でそろえることが望ましいですが、低利の融資制度を最低限活用するのも一つの方法です。

8 農業共済への加入をしよう

農業共済は災害や不慮の事故によって農業者が受けることのある損失を補てんする**農業共済**と、災害のほか販売価格の低下等による農業収入の減少を補償する**農業経営収入保険**があります。万が一に備え、安心して農業経営を続けるために加入をお勧めします。

新規就農



〈養父市の代表的な作物の経営指標〉

○朝来農業改良普及センター試算

(10aあたり)

作 目	ピーマン（露地）	ホウレン草（雨よけ有機）	ダイコン（高原露地）	水 稲
収量（kg）	7,200	650	5,000	450
単価（円）	400	917	110	266
売 上	2,880,000	596,050	550,000	119,700
経 費	1,728,000	295,782	350,000	91,312
所 得	1,152,000	300,268	200,000	28,388
労働時間（時間）	604	207	110	22

※上記のデータは、兵庫県北部のモデル的な農業経営実態を調査し、取りまとめたものであり、新規就農当初の農業所得は、上記の3～5割減になることも想定しご参照ください。



おおや高原の
約1ヘクタールの
農園で有機農業を
実践中



養父市で就農している先輩農家に聞く！ 教えて！先輩①

ベランダ栽培→大規模農業を継承 36棟のハウスで有機野菜作り

養父市大屋町おおや高原 ほう農園 鮎昌成さん

失敗が導いた農業への縁。第三者継承で引き継ぎ、新規就農

メイン品目 ホウレン草・ミニトマト
有機JAS取得 菊菜・小松菜・水菜
空芯菜・小かぶ



○我が家の野菜のおすすめメニュー
ホウレン草と豚肉を牛乳で煮込んだ
コンソメ味のクリーム煮やグラタン。
味噌汁の具にしてもおいしいですよ。



関係者の方々と
調印式に
臨みました



第三者経営継承調印式



農園が広いので
農機は力強い
相棒



鮎さんは神戸市出身。コロナ禍前までは電機メーカーの技術者として働いていました。食関係の仕事に興味があったので、ある時試しに自宅のベランダでホウレン草などの葉物野菜をプランター栽培してみたところ、大失敗。

「ホウレン草が10cm程度に育ち、収穫できるぞと喜んでいたらそのまま枯れてしまったんです…（ガッカリ）」

その後もうまくいかないことが多かったものの、何度か栽培に挑戦しているうちに「野菜を育てるのが難しいな、でもおもしろいな」と感じたそう。

そこで早速、休日を利用して神戸市西区で行われていた週末農業塾の研修に参加。同じ頃、神戸市で開催された兵庫県の就農イベントなどに参加し、養父市を知ります。研修と面談を通じて農業を仕事にしようと決意を固め、就農の候補地は養父市に。お試し住宅制度を活用し、現地での生活を短期間体験後、家族の後押しもあり2021年10月に大屋へ移住しました。同時におおや高原

てっぺん近くの農場で2年半、ベテラン農家の親方について農業技術や経営方法を学びました。

鮎さんは農業は全くの素人でしたが、研修を通じて様々に学べたので「割と早い時期にこれならやっていけそうだなと思いました」とはいえ、事業継承の調印式では親方に「研修の初めの頃は（大丈夫かいな、この子…）」と思っていた」と明かされました。引退された親方は、鮎さんが栽培技術をマスターして親方の経営基盤を引き継ぎ、事業を継承した後も相談相手となり支えてくれています。

高原では平地より天気の変り変わりが早く、風や雲の具合、気温をまめに感じとり、農作物を守らなければなりません。その度にビニールハウスの管理などに奔走しますが、鮎さんは「おいしい野菜を育てたい」一心で取り組んでいます。味の良い元気な作物を育てるため半年寝かせて熟成させた堆肥を使用し、懸命な日々の心配りから甘味のある有機野菜が育ち、今日もほう農園から出荷されています。

年間スケジュール	栽培	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ビニールハウス	ビニールハウス	ビニールハウス	ビニールハウス	ビニールハウス	ビニールハウス	ビニールハウス	ビニールハウス	ビニールハウス	ビニールハウス	ビニールハウス	ビニールハウス	ビニールハウス
種まき	種まき	種まき	種まき	種まき	種まき	種まき	種まき	種まき	種まき	種まき	種まき	種まき
収穫	収穫	収穫	収穫	収穫	収穫	収穫	収穫	収穫	収穫	収穫	収穫	収穫
出荷	出荷	出荷	出荷	出荷	出荷	出荷	出荷	出荷	出荷	出荷	出荷	出荷

夏の日	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
★起床	★起床	★起床	★起床	★起床	★起床	★起床	★起床	★起床	★起床	★起床	★起床	★起床	★起床	★起床	★起床	★起床	★起床	★起床
★朝食	★朝食	★朝食	★朝食	★朝食	★朝食	★朝食	★朝食	★朝食	★朝食	★朝食	★朝食	★朝食	★朝食	★朝食	★朝食	★朝食	★朝食	★朝食
★作業	★作業	★作業	★作業	★作業	★作業	★作業	★作業	★作業	★作業	★作業	★作業	★作業	★作業	★作業	★作業	★作業	★作業	★作業
★休憩	★休憩	★休憩	★休憩	★休憩	★休憩	★休憩	★休憩	★休憩	★休憩	★休憩	★休憩	★休憩	★休憩	★休憩	★休憩	★休憩	★休憩	★休憩
★夕食	★夕食	★夕食	★夕食	★夕食	★夕食	★夕食	★夕食	★夕食	★夕食	★夕食	★夕食	★夕食	★夕食	★夕食	★夕食	★夕食	★夕食	★夕食
★就寝	★就寝	★就寝	★就寝	★就寝	★就寝	★就寝	★就寝	★就寝	★就寝	★就寝	★就寝	★就寝	★就寝	★就寝	★就寝	★就寝	★就寝	★就寝



スケジュールを
組んで計画的に
作業します

播種機で種まき。
土を耕すのと種まきと
土均しを1台で行えるので
便利です

書類などは
ここで作成

新規就農の方へ
Message
一緒にやろう！

私は移住前に短期間ですがお試し住宅に滞在していたため、お店や施設への距離・時間を掴んでいたのが移住後の生活がスムーズでした。できるだけ情報収集をして、支援制度を活用した方がいいと思います。

「コミュニケーションを大切に」。生活も仕事も一人ではできることが限られる。私も困った時に助けて頂いています。お互いに相談できる関係は大切です。人付き合いを大切にしましょう。

事業継承の話は当初からあり、条件がマッチしたので決断しました。経営規模が大きかったので迷いもありましたが、逆に考えると今この規模の施設や農機を自分で揃えようとしても相当難しい。譲って頂きありがたかったです。

仲間が増えるの、大歓迎！ぜひ養父市で就農してください！



養父市で就農している先輩農家に聞く！ 教えて！先輩②



有機の里特区の看板が決め手「ここしかないやん！！」と即決

養父市大屋町蔵垣 田村和樹さん・麻里奈さんご夫妻

お客様の「おいしい野菜やなあ」の声を励みに。

メイン品目 ピーマン・なす
有機JAS取得 ズッキーニ・水菜

サブ品目 万願寺唐辛子・バジル
しょうがなど



○我が家の野菜のおすすめメニュー
ピーマンの肉詰めが子どもたちの
大好物。赤ピーマンは甘くてみずみずしいので、サラダにしても。



田村さん夫妻は、ふたりとも独身の頃からいずれは有機農業をやりたいな、と思っていたそうです。兵庫県で就農することは決めていましたが、初めのうち候補地は丹波篠山・三田市などで、養父市は選択外でした。移り住むにあたっては土地の人になじめるか、また有機農業に理解がある土地かなどを考えていたといいます。

ある日、候補地巡りのため但馬へドライブ。近くまで来たので、たまたま田村さんの祖父母が住んでおられた大屋町蔵垣の家に寄ってみることにしました。道の角を曲がろうとして、ふとある看板が目にとまり、それがおお有機の里特区の看板でした。

「看板を見た瞬間、求めていた場所はここだ！とふたりで大盛り上がりしてしまいました」と笑う田村さん夫妻。さらに加西市で受けた農業研修の際、大屋町の有機農業の学校の先生に教わっていたご縁もあり、養父市で就農することに決めました。

○農業のこだわり

アレルギーなどがある敏感な人や赤ちゃんでも食べられる品質の良い野菜作りをしたい。その思いから、安全性を追求するため、肥料は原料から厳しくチェックしています。自分たちで納得できる、出所のわかっている肥料を使い、時には自ら植物由来の肥料を作ることもあります。いずれの場合も植物の持つ自然の力を引き出すため、余分な肥料は与えません。

持続可能な農業を念頭に、無理なくできる範囲で、出来るだけ環境に負荷の少ない農作物の作り方を研究中の田村さん夫妻のもとには、野菜を購入したお客様からお礼の手紙が届き、感激することもしばしば。

『田村さんの野菜は、私も食べることが出来ました』『応援しています』等のメッセージを頂き、生産者として、最高にうれしいです！

年間スケジュール	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ハウス	水菜	種まき	苗作り	植え付け	ズッキーニ	バジル	種まき	苗作り	水菜	路地	種まき	苗作り
路地	種まき	苗作り	準備	苗作り	植え付け	ズッキーニ	なす	ピーマン・万願寺唐辛子	しょうが	雪のふりかき	作業のめいめい	作業のめいめい

夏の日	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
★起床	★収穫・袋詰め作業	★朝ごはん	★子どもたちが登校	★水やり・管理作業	★出作業	★近所の牛しこのあ手伝い	★出荷完了	★曇りはん	★休養・お昼寝は長めに取る	★（真夏は暑いので）	★暑がり	★管理業務・整枝等	★その他	★お風呂	★子どもたち就寝	★自由時間	★（伝書紙の管理等）	★就寝	★就寝



はじめは販路を作るのが大変でしたが、しっかりとした品質の苗や野菜を作ることによって、大手スーパーなどが取引先に。収入も安定しました。

栽培方法の研究、販路作り、肥料作りなどやることはたくさんあります。大変ですが、一つ一つ自分たちの力で作っていくので楽しく、やりがいのある充実した毎日です。

自分たちでやる手作り型農業と規模の大きいがつり型農業。私たちは前者を選びましたが、それぞれにいいところがあるので、自分に合いそうなものを選択すると思います。

農業って
おもしろいよ！
何でも教えます。
ぜひ来てみて！



養父市で就農している先輩農家に聞く！ 教えて！先輩③

農業がやりたくて一念発起 轟高原 野菜作りの大ベテラン

養父市轟地区 木戸孝太郎さん

子どもと一緒にいられる時間が長いのがいいところ。

メイン品目 轟大根・水菜



○我が家の野菜のおすすめメニュー
大根おろし。味が一発でわかる！
涼しい季節になってきたら、体が
温まる熱々のお味噌汁もおすすめ。



木戸さんは、現在のように農業がブームになる前、およそ今から20年ほど前に農業を始めました。元々農業に関心があったため、最初の就職も農薬メーカーへ。その後、神戸市での農業フェアに参加した際、養父市のことを知りました。

「僕の実家はサラリーマン家庭で、農家のことは全然知らなかった。ですからやっぱり、最初は農業をやることにとてもビビっていたんですね。それでとりあえず農業関係に就職して、現場の情報を集めて失敗しないやり方を探っていた（笑）。でもその間に農業に関する話をいろいろ聞いて、これはビビっている場合じゃない、自分にも出来そうだ、早く行動を起こそうと決意した訳です」

養父市は当時から就農したい人への支援制度があり、木戸さんも市から補助を受けながら就農体験を積みました。

「最初の3年間は月15万円の補助プラス住宅補助もあり、養父市に基盤のない僕には本当にありがたかった。

3年の間にノウハウを身につけ、独り立ちしてもなんとかやっていけるだけの力と自信ができました」

○農業のこだわり

轟大根は、空に浮かんでいるかのような杉ヶ沢高原で作られる、やわらかく辛みが少ない人気の夏大根。就農体験で教えてもらったことを基本に、手塩にかけて育てています。

冬は積雪が多いため高原から降り、ふもとのビニールハウスで水菜を栽培し、出荷。お客様からは「轟大根も水菜も、自然な甘みがおいしく、新鮮でみずみずしい」と好評です。

木戸さんの今後は？

「僕はゴールを設定した方が頑張れるタイプなので、今のところ60才まで頑張って、そこで一区切りしようかなと考えているところですが、農業には定年がないので、その後も続けていそうですね（笑）」

年間スケジュール	栽培	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ハウス													
水菜													
露地													
種まき													
土準備													
苗作り													
植え付け													
轟大根													
作業お休み													
雪のため													
作業再開													

夏の日	4	5	6	7	8	9	10	11	12	14	15	16	17	18	19	20	21
★起床																	
★大根の収穫へ																	
★出荷作業																	
★早く帰る																	
★作業いじめる																	
★大根の収穫																	
★作業終了																	
★子ども野球チームの練習																	
★夕ごはん																	
★お風呂																	
★就寝																	

新規就農の方へ
Message
一緒にやろう！

はじめて農業をするということで心配はいろいろあると思いますが、支援制度も様々にあるので、まずは実際に試してみるのがいいと思います。そうすれば土地の空気感、季節感などがダイレクトにわかる。経験するのが一番、勉強になると思いますよ。

屋外での作業が主なので、あまり体力のない方だと正直、きついかもしれません。就農は、体が元気な方におすすめします。

やり方を工夫することで収穫量が増えたり収入が上がったりするのが嬉しい。要は、自分の工夫次第です。しっかりとした良い農作物を作れば、販路はついてくると思います。



養父市の有機農業の取組



1 有機農業とは

有機農業とは、化学肥料・農薬、遺伝子組み換え技術を使わず、可能な限り環境に配慮した栽培法のことをいいます。土壌環境や生物の多様性など農業生態系を守ることにつながるとともに、海外からの化学肥料の輸入に依存しない農業としても効果があります。（参照：農林水産省「有機農業をめぐる事情」）



養父市では令和5年に、環境に配慮した有機農業に対する理解を深め、その重要性を認識した行動を起こすまちづくりを目指し、オーガニックビレッジを宣言しました。

2 有機 JAS とは

有機 JAS とは、有機食品（農薬や化学肥料などの化学物質に頼らないことを基本として自然界の力で生産された食品）について農林水産大臣が定める国家規格です。有機食品の JAS に適合した生産が行われていることを登録認証機関が検査し、その結果、認証された事業者のみが有機 JAS マークを貼ることができます。有機 JAS マークがない農産物、畜産物、加工食品に、「有機」「オーガニック」などの名称の表示や、これと紛らわしい表示を付すことは法律で禁止されています。



有機JASマーク

（参照：農林水産省 HP「有機 JAS について教えてください」）

【兵庫県内の有機JAS登録認証機関】

特定非営利活動法人 兵庫県有機農業研究会HOAS

TEL:078-367-8567
E-mail:hyoyuken@hyoyuken.org



一般社団法人 オーガニック認証センター

TEL:078-366-5128
E-mail:annai@organic-cert.or.jp



3 養父市の有機農業の現状

（R8年3月末現在）

有機農業取組人数：32人 ※
有機農業取組面積：3434.6a ※
うち有機JAS人数：19人
うち有機JAS面積：2,047a

※有機農業取組人数、面積については、環境保全型農業直接支払交付金（有機農業）の実績や有機JAS認証内容及び農業者への聞き取り等により、市が把握する当該年度の取組実績を計上しています。

R7年度 品目別有機農業取組面積

品 目	面 積(a)
水 稲	1883.5
ホウレン草	464.9
に ん じ ん	100.6
ピ ー マ ン	59.4
だ い こ ん	57.0
み ず な	35.7
そ の 他	191.1

（環境保全型農業直接支払交付金（有機農業）から）

養父市は、山岳高原地帯等の豊かな自然があり、また、ブランド和牛「但馬牛」等の牛ふんから作られる良質な堆肥を用いた土づくりも行われており、大屋地域を中心に有機農業が盛んに取り組まれています。有機農産物に特化した生産グループが複数あることや、有機農業について学べる場があること等、有機農業を始めやすい環境であり、人口1万人当たりの有機JAS取得事業者数も兵庫県内で1位となっています。



4 有機農業の生産グループ

おおや高原有機野菜部会

養父市大屋町の標高600mの高原に造成された野菜団地。部会員全員が有機JAS認証を取得し、冷涼な気候を活かしてホウレン草等の葉物野菜を栽培しています。

兵庫県の「就農・定着応援プラン」に認定されており、新規就農を目指す方の受け入れも行っています。

但馬有機の会

平成29年に養父市と近隣市町の若手就農者を中心に結成。メンバー全員で有機JAS認証を取得し、ピーマンやナス等を栽培し、大手スーパーへ出荷する他、子どもたちに安心安全な野菜を届けるため給食への有機野菜導入にも力を入れています。

兵庫県の「就農・定着応援プラン」に認定されており、新規就農を目指す方の受け入れも行っています。

コウノトリ育むお米生産部会(養父支部)

「コウノトリ育むお米」は但馬地域を中心に栽培されている農法で、コウノトリの餌となる多様な生き物を育むお米作りをしています。養父市でもこの農法で農薬や化学肥料に頼らない、人にも環境にもやさしいお米が栽培されています。

NPO法人Earth Family 農と食と教育

令和7年2月に設立したNPO法人。オーガニック給食を旗印にし、農薬や化学肥料に頼らない栽培方法で作られた地域の野菜を、地域内外に給食として子どもたちへ届ける活動を行っています。

5 有機農業を学べる機関

◆(市内)おおや有機農業の学校

おおや有機農業の学校では、「保田ぼかし」を使った有機農業に取り組み、有機農業の専門家の講義を座学や実習で学ぶことができます。



◆(市外)兵庫県立農業大学校「有機農業アカデミー」

兵庫県では、「経営として成り立つ有機農業」を実践する担い手や地域のリーダーとなり得る人材を育成するため、県立農業大学校に有機農業を体系的に学ぶ有機農業アカデミー(有機農業課程)を開講しています。

詳しくは
農業大学校
ホームページを
ご覧ください⇒



6 有機農業等に関する補助金



(市)有機JAS認定補助金

有機農業を推進するため、有機JAS認証を取得される方への補助を行っています。

【対象者】

養父市内に在住・営農をされている方

【補助率】

有機JAS認証取得にかかる経費の2分の1(上限 50,000円)

詳しくは
市ホームページを
ご覧ください⇒



(市)土壌診断補助金

農作物栽培の基本となる「土づくり」がより効果的なものになるよう、土壌診断にかかる経費を補助します。

【対象者】

養父市に住む個人または事業所を置く団体で、販売を目的に農産物を生産している農業者

【補助率】

- 1 土壌診断実施機関に発注した場合 補助対象経費の2分の1(上限30,000円)
- 2 土壌診断用試薬等を用いて自己診断した場合 補助対象経費の2分の1(上限10,000円)

詳しくは
市ホームページを
ご覧ください⇒



(市)たい肥補助金

おおや堆肥センターで堆肥の散布を申し込まれた場合、
10aあたり1,000円補助します。

詳しくは
市ホームページを
ご覧ください⇒



(国)環境保全型農業直接支払交付金

化学肥料・化学農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動を支援します。

【支援対象】

- ・慣行レベルが設定されており、通常の営農管理において当該資材が使用されている作物
- ・有機農業については、都道府県が支援対象として公表している作物

(国)有機転換推進事業

新たに有機農業への転換等に取り組む農業者に対し、有機種苗の購入や土づくり、病害虫が発生しにくい環境の整備といった有機農業の生産開始に必要な経費相当額を支援します。

【補助率】

10aあたり2万円以内

【対象者】

- 1 慣行農業から有機農業の転換に取り組む農業者
- 2 有機農業に取り組む新規就農者(就農後3年以内)



お問合せ

養父市役所 産業環境部 農林振興課

TEL.079-664-0284 E-mail : nousei@city.yabu.lg.jp



知って
得する

就農支援制度



農業インターンシップ研修（県）



農業という職業が自分に合っているか、農業に適性があるかなどを体験を通じて確認する研修です。

〈対象者〉

兵庫県内で就農を希望している新規就農希望者で、農業体験指導を希望する者。

〈体験期間〉

1日～15日

※連続でなくて構いません。土・日も受け入れ可能

※就農を希望する地域で、優れた経営を行っている農業者のもとで農作業や地域の環境を肌で感じることができる制度。

お問合せ

ひょうご就農支援センターまたは朝来農業改良普及センターへお問合せください。

（公社）ひょうご農林機構 ひょうご就農支援センター

ホームページ：<https://hyogo-shunou.jp> TEL：078-391-1222

朝来農業改良普及センター

TEL.079-672-6890 E-mail：asagonk@pref.hyogo.lg.jp



養父市新規就農希望者研修支援制度（市）



養父市で新たに就農を希望する就農希望者が、市内で営農する熟練の農業者である親方の下で学ぶ制度です。栽培方法や農業経営など親方農家から直接指導を受け、実践的な技術を学び独立営農を目指します。

農業研修を行う者に対し、年間150万円を最長2年間支援。

以下の要件を全て満たす方

(1) 営農開始予定時(研修終了時)の年齢が50歳未満の就農希望者。

(2) 研修終了後、養父市内で営農することができる就農希望者。

※資金交付にはこのほかにも要件があります。詳しくはお尋ねください。

お問合せ

養父市役所 産業環境部 農林振興課

TEL.079-664-0284 E-mail：nousei@city.yabu.lg.jp



知って
得する

就農支援制度



新規就農者育成総合対策（国）



(1) 就農準備資金（資金面の支援）

就農に向けて必要な技術等を習得する研修生に対して資金を助成します。

対象者：次のいずれにも該当する方

- ① 独立・自営就農、雇用就農又は親元就農を目指し、就農予定時の年齢が49歳以下の方。
- ② 都道府県等が認めた研修機関等（養父市では但馬有機の会やおおや高原有機野菜部会等が認定）で概ね1年以上かつ概ね年間1,200時間以上研修を受ける方。
- ③ 原則、前年の世帯所得が600万円以下である方。

支援額…13.75万円／月（年間165万円）

最長2年間

※資金交付にはこのほかにも要件があります。詳しくはお尋ねください。

(2) 経営開始資金（資金面の支援）

新たに経営を開始する方に対して資金を助成します。

対象者：次のいずれにも該当する方

- ① 独立・自営就農時の年齢が49歳以下の新規就農者で、次代を担う農業者となることについて強い意欲を有している方。
- ② 養父市から新たに「青年等就農計画」の認定を受けた認定新規就農者※1の方。
- ③ 原則、前年の世帯所得が600万円以下である方。

支援額…13.75万円／月（年間165万円）

最長3年間

※資金交付にはこのほかにも要件があります。詳しくはお尋ねください。

(3) 経営発展支援事業（経営発展の支援）

就農後の経営発展のために、機械・施設等の導入を支援します。

対象者：次のいずれにも該当する方

- ① 独立・自営就農時の年齢が49歳以下の新規就農者の方。
- ② 養父市から新たに「青年等就農計画」の認定を受けた認定新規就農者※1の方。

補助率…補助対象経費の3／4

支援額…補助対象事業費 上限1,000万円

「経営開始資金」の交付対象者は、補助対象事業費上限500万円

※補助金交付にはこのほかにも要件があります。詳しくはお尋ねください。

※1 新たに農業を始める方が作成する「青年等就農計画」を養父市が認定し、認定を受けた方が、将来において安定的な農業経営の担い手として発展していくよう支援する制度。

お問合せ

養父市役所 産業環境部 農林振興課

TEL.079-664-0284 E-mail : nousei@city.yabu.lg.jp

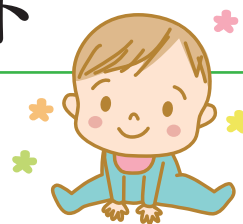
詳しくは市ホームページをご覧ください ⇒





切れ目なく
子育て世帯を
応援！

養父市の子育てサポート



妊娠・出産期

**補助
あり**

◎特定不妊治療における治療費及び通院交通費助成

特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)を受けられた夫婦に対し、治療費の一部を助成します。また、通院交通費の一部についても助成します。

その他、不育症、一般不妊治療については治療費の一部(通院交通費は対象外)を助成します。

乳幼児期

**0円
無料**

◎1か月児等健康診査費・新生児聴力検査費助成事業

生後2週間、1か月児健診にかかる費用を全額助成、聴こえに問題がある赤ちゃんを早期に発見し適切な支援を行うため、新生児聴力検査に要した費用を全額助成します。



**0円
無料**

◎認定こども園・保育所の保育料無償化

認定こども園・保育所を対象に、**保育料と副食費を無料**にします。



**0円
無料**

◎乳幼児等医療費助成事業

◎こども医療費助成事業

0歳から高校3年生までのお子さんが市内在住の場合、健康保険適用分の医療費を全額助成します。

小学校・中学校・高等学校
期

軽減

◎給食費負担軽減事業

市内の小中学校及び義務教育学校に通学するお子さんの給食費の負担を軽減します。

小学生児童:保護者負担額0円

中学校生徒:第1子は月額3,000円

:第2子以降は月額2,100円



**補助
あり**

◎遠距離通学児童・生徒通学費補助事業

市立小学校、中学校及び義務教育学校に遠距離通学する児童・生徒の保護者に対してバス代・自転車通学費などを補助します。



**補助
あり**

◎高校生通学費補助金交付事業

市に居住し高等学校に電車及びバス通学する生徒の保護者に対し定期乗車券購入費用の一部を補助します。



あなたの
移住・定住を
応援！

やぶ暮らし住宅支援制度



養父市の住まいのサポート

奨励金
あり



やぶ暮らし住宅支援制度

養父市に定住するため、専用住宅を新築、購入、又は増改築、若しくは市内の賃貸住宅等を契約し、入居した方や、U・Iターンで養父市に転入された方に対し奨励金を交付します。＊年齢等要件あり。

最大
30
万円



空き家購入奨励金

空き家を購入した際、条件を満たした空き家に対し空き家購入奨励金を交付します。＊年齢等要件あり。

最大
40
万円



新築奨励金

延床面積が75㎡以上の専用住宅を新築した場合、新築奨励金を交付します。＊年齢等要件あり。

月額
2 万円
(最長12か月)



民間賃貸住宅入居奨励金

賃借料の月額が4万円以上の民間賃貸住宅に入居した場合、民間賃貸住宅入居奨励金を交付します。＊年齢等要件あり。

最大
25
万円



増改築奨励金

延床面積が75㎡以上で50万円以上の費用を要して専用住宅もしくは賃貸住宅等を増改築した場合、増改築奨励金を交付します。＊年齢等要件あり。

奨励金
あり



U・Iターン者奨励金

U・Iターン者等が定住のため本市に居住した場合、U・Iターン者奨励金を交付します。＊年齢等要件あり。



養父市空き家バンク

市内の空き家を利用(賃貸または購入)したい方に対し、空き家バンクに登録された物件の情報提供を行います。

詳しくは養父市移住定住促進U・Iターン総合サイトをご覧ください ⇒



Access



大阪から約2時間
神戸から約1時間40分

○大阪・神戸(中国自動車道)→吉川JCT
→(舞鶴自動車道)→春日IC→(北近畿豊岡自動車道)→養父IC又は八鹿氷ノ山IC
○大阪・神戸(中国自動車道)→福崎IC
→(播但自動車道)

京都から約2時間30分

○京都→国道9号線→(京都縦貫自動車道)
→国道9号線



JR(特急)で…
大阪・神戸・京都から 約2時間10分
JR(新幹線+特急)で…
東京から 約5時間



飛行機で(羽田→伊丹→但馬)…
東京から 約2時間15分
大阪から 35分



養父市役所 産業環境部 農林振興課

〒667-0198 兵庫県養父市広谷250-1

TEL.079-664-0284 FAX.079-664-1758

<https://www.city.yabu.hyogo.jp>

E-mail: nousei@city.yabu.lg.jp

養父市

GO